

ものづくりの現場で成果を出すための基礎力を養う

製造現場リーダーの 基礎力アップ講座

金沢
キャンパス
生産管理

研修のねらい

製造業の利益の源泉である工場では、「品質・コスト・納期」を意識し、人や設備を効率的に稼働させることで、利益を確保する生産活動が行われています。

製造現場の管理者やリーダーには、こうした生産活動の基本を理解した上で、工場（もしくは担当部門）全体を把握しながら、常に最適なバランスを考えて改善と維持に取り組むことが求められています。

この研修では、生産管理の基本的な観点である「QCD」を中心に、現場改善の必要性や目的を理解し、代表的な現場改善手法を学びながら製造現場リーダーの役割について理解を深めます。

研修のポイント

- ✓ 製造現場のリーダーが身につけておきたい生産管理の基本について「QCD」を軸に演習を交えながら幅広く学びます。
- ✓ 管理者としての役割や責任を理解し、現場改善を定着させるポイントが学べます。

研修期間

2026 年

7/8^水～7/9^木8/20^木（3日間・20時間）

対象者

新任管理者、管理者候補等

- ・ 部下を持って1～3年程度の生産現場リーダー
- ・ 将来的に管理者等として期待される方
- ・ 生産管理に必要な知識、考え方の基礎を学びなおしたい方

定員 16名

受講料 29,000円(税込)

会場

金沢パークビル 9階 902 会議室

石川県金沢市広岡3-1-1

※9階エレベーターを出て正面の会議室です
※中小機構のロゴマークが目印です

月 日	時間	科目	内容
7/8 ^水	9:20-9:30	オリエンテーション	
	9:30-11:00	モノづくり企業に必要な強みを理解する	製造現場のリーダーには、現場での生産活動の先に、企業としての利益を見据える姿勢も大切です。 ここでは、モノづくり企業が利益を獲得するための「競争力」の全体像について理解を深めます。 ・ いかにして利益を獲得するのか ・ ものづくり現場にはどのような強みが必要なのか
	11:00-17:30 昼休憩 12:30-13:30	品質・コスト・納期の意味を再確認する	基礎知識の習得とともにQCDの意味するところを再確認し、現場でQCDを高めるための基本的な方向性を学びます。 ・ 品質、コスト、納期の意味とその関係性 ・ QCDを向上させる基本的な考え方
7/9 ^木	9:30-17:30 昼休憩 12:30-13:30	問題解決のためのアプローチ	現状を把握して問題解決に向かっていくための考え方や手法について、演習を交えながら学びます。 ・ リーダーとして心得ておきたい問題解決の4つのポイント ・ 改善手法の全体像 ・ 作業改善を体感しよう（グループ演習） ・ QCT7道具を活用した問題解決法

インターバル期間

8/20 ^木	9:30-10:30	QCDの観点で自社の問題点を抽出する	インターバル期間にQCDの観点で自社の課題を1つ選び、現状把握した内容を研修当日にグループ内で情報交換します。 ・ 研修1日目～2日目の振り返り ・ インターバル課題についての自由討論
	10:30-16:30 昼休憩 12:30-13:30	改善の切り口を知る	現場改善を進める上で知っておきたい観点と、しぐみを「維持」する方法について事例を交えながら学びます。 ・ 7つのムダ ・ 段取り改善 ・ 5Sと3S
	16:30-16:40	修了証書授与	

※カリキュラムは、都合により一部変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

講師紹介（敬称略）



ジン・コンサルティング 代表

西村 仁（にしむら ひとし）

株式会社村田製作所の生産技術部門で21年間、電子部品製造の新規設備開発、ライン企画、工程改善を担当。2007年に独立し、製造業及びサービスの生産性向上支援を行う。中小企業庁評価委員。立命館大学大学院 経営管理研究科 非常勤講師。

著書「図面の読み方がやさしくわかる本」（日本能率協会マネジメントセンター刊、日本図書館協会選定図書）、「基本からよくわかる品質管理と品質改善のしくみ」（日本実業出版社刊）、「はじめての現場改善」（日刊工業新聞社）ほか多数。